

東北地方 1 か月予報

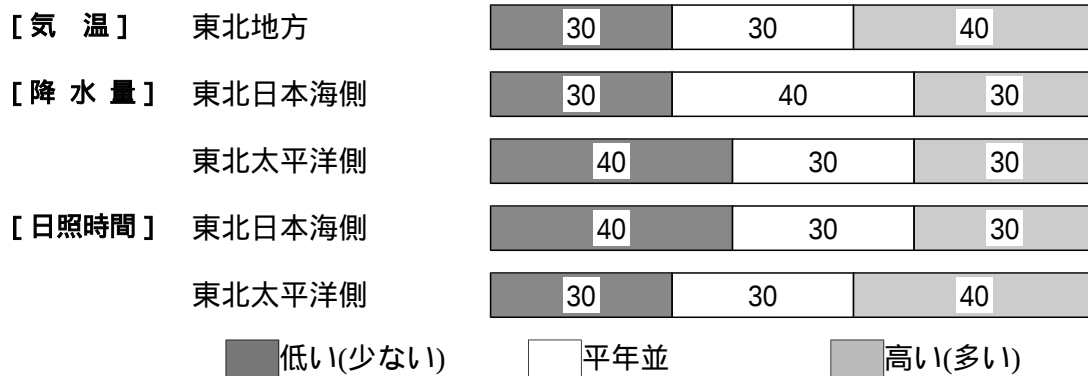
(3 月 1 4 日から 4 月 1 3 日までの天候見通し)

平成 2 1 年 3 月 1 3 日
仙台管区气象台発表

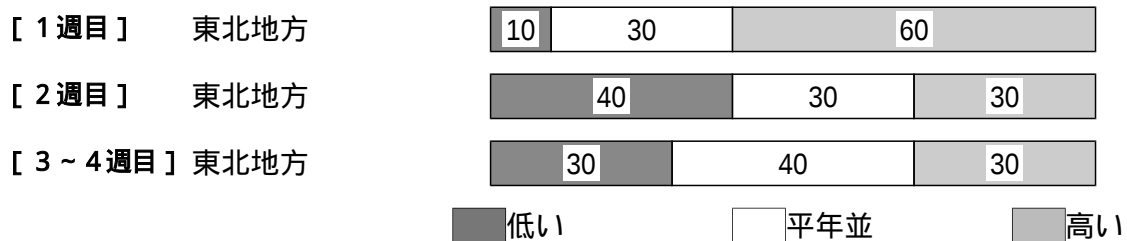
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
週別の気温は、1 週目は高い確率が 6 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 3 月 1 4 日 (土) ~ 4 月 1 3 日 (月)
1 週目 : 3 月 1 4 日 (土) ~ 3 月 2 0 日 (金)
2 週目 : 3 月 2 1 日 (土) ~ 3 月 2 7 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 3 月 2 8 日 (土) ~ 4 月 1 0 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 2 0 日
3 か月予報 : 3 月 2 5 日 (水) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	4.3	64.1	168.6	2.0	3.1	5.5
深浦	4.9	88.8	152.0	2.6	3.7	6.0
むつ	3.7	78.0	175.5	1.4	2.5	4.9
八戸	4.6	54.8	185.5	2.3	3.4	5.9
秋田	5.6	103.3	161.6	3.2	4.4	6.8
盛岡	4.4	89.3	171.2	1.9	3.0	5.6
大船渡	5.6	118.6	173.2	3.5	4.4	6.7
宮古	5.2	97.1	187.9	3.0	4.0	6.4
仙台	6.6	88.1	187.9	4.5	5.5	7.7
石巻	5.9	83.7	192.6	3.7	4.7	6.9
山形	5.6	67.1	162.0	3.1	4.2	6.8
新庄	4.1	107.3	134.7	2.0	2.9	5.1
酒田	6.4	103.8	151.9	4.2	5.3	7.5
福島	7.3	83.5	184.6	4.9	5.9	8.4
若松	5.6	68.1	155.4	3.0	4.2	6.8
白河	5.9	92.1	183.3	3.6	4.6	7.1
小名浜	8.0	126.1	186.4	6.2	7.0	9.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.4	87 ～ 111	97 ～ 105
東北日本海側	-0.2 ～ +0.3	88 ～ 108	94 ～ 105
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.3	83 ～ 116	97 ～ 105

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.6
東北日本海側	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.6

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 3 月 13 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (3 月 14 日～4 月 13 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

1 週目は、気温が高い見込みです。融雪による土砂災害やなだれに注意してください。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (3 月 14 日～3 月 20 日) :

期間の前半は気圧の谷や寒気の影響で曇りで雨または雪の日が多いですが、期間の後半は高気圧におおわれ晴れるところが多いでしょう。

なお、14 日にかけて発達する低気圧の影響で大荒れとなるおそれがあります。

平均気温は高い確率が 60% です。

2 週目 (3 月 21 日～3 月 27 日) :

天気は数日の周期で変わり、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (3 月 28 日～4 月 10 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

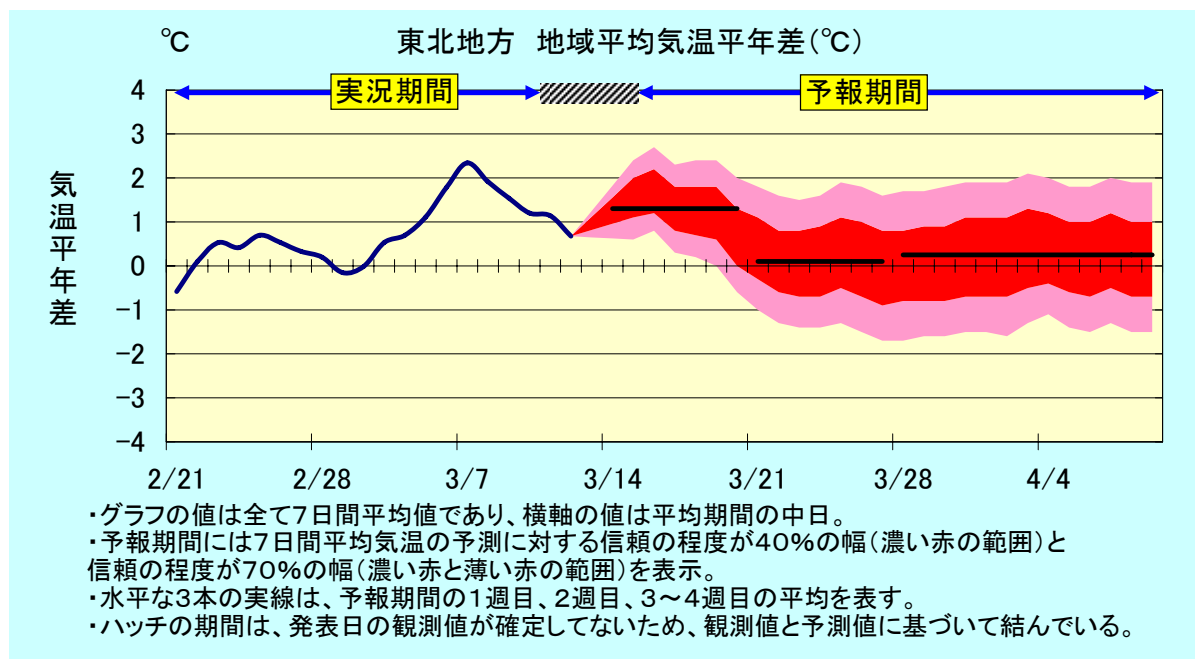
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.9 日	3.1 日	3.4 日	7.4 日
東北太平洋側	17.6 日	4.7 日	4.4 日	8.5 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の平均気温は、1 週目は平年を上回り、2 週目、3～4 週目は平年付近の予想となっている。

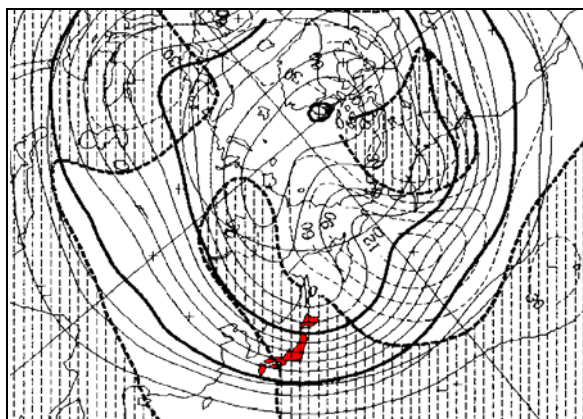


3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

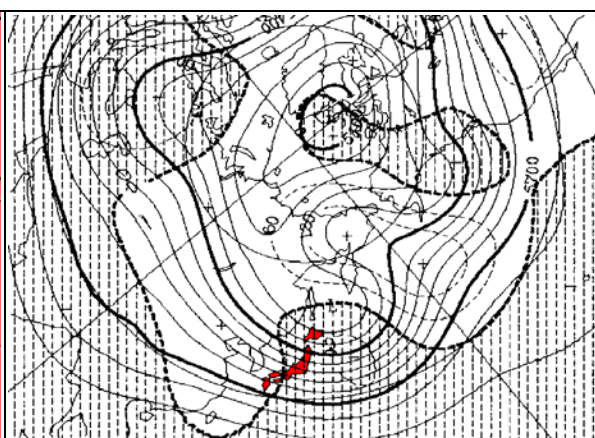
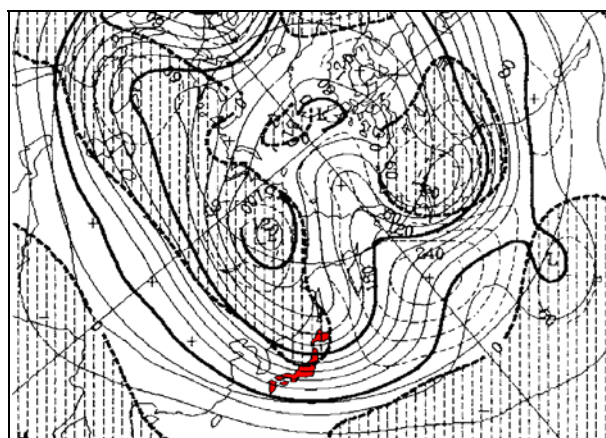
1 か月平均:北太平洋の日付変更線付近は強い正偏差。一方、バイカル湖付近から日本の南東海上にかけて負偏差で、一時寒気の影響が見込まれる。

1 週目:北日本には中央シベリアを中心とする負偏差がかかるが、北太平洋日付変更線付近の正偏差は強い。東日本以西は正偏差であり、寒気の影響は小さく気温は高めが見込まれる。

2 週目:日本付近は東谷傾向で日本の東海上を中心に広く負偏差がかかる。一時冬型の気圧配置となり、大陸からの寒気の南下が見込まれる。



1 か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は 1, 2 週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1 週目平均 500hPa 予想天気図

2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

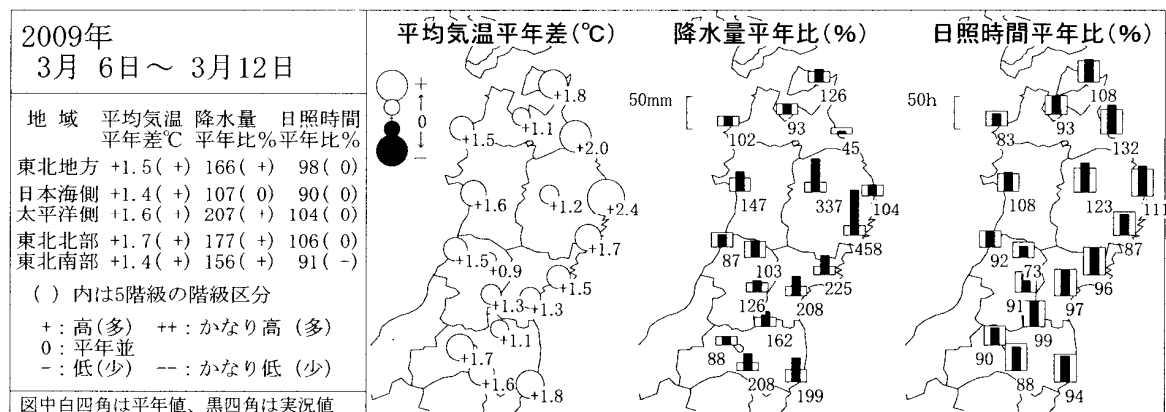
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近 1 週間 (3 月 6 日～3 月 12 日) の天候の経過

この期間、天気は数日の周期で変化した。本州南岸を低気圧が通過することが多かったため、東北南部では晴れの日が少なかった。6 日から 7 日にかけては、二つ玉低気圧の影響を受けて東北太平洋側を中心に降水量は多くなり、また、10 日に本州南岸の低気圧が三陸沖を発達しながら北東進したため、11 日は強い冬型の気圧配置となり、宮城県では強風による家屋の被害や、鉄道が運休するなどの影響があった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)